

ボイラー上昇管切断時 配管裏にある熱電対を切断した**【発生状況】**

ボイラーの上昇管を切断していた際、配管の裏にあった熱電対を切断した。切断前に熱電対の存在を把握していたため、切断時には確認者を配置していたが、グラインダーの音で確認者の声が聞こえず 誤切断に至った。

**【原因・問題点】**

- ①熱電対の存在は把握していたが物理的な対策などの配慮が不足していた。
- ②確認者の連絡方法が明確でなかったため、連絡が的確に伝わらなかった。

【対策】

- ①干渉物への配慮は、注意や声掛けだけでなく、物理的な措置（プロテクター、養生、仮撤去など）をとる。
- ②確認者、補助者、合図者等との連絡方法はあらかじめ明確にしておく。